

議事録

1. 件名： 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性の検討に係る市場調査
2. 日時： 令和5年11月15日(水) 11:00～11:30
3. 場所： 原子力規制庁 会議室

4. 出席者： 原子力規制庁

長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門

日比野総括技術研究調査官、藤原技術研究調査官、川内技術計画専門職、
高松技術参与

東芝エネルギーシステムズ株式会社

パワーシステム事業部 原子力システム設計部 エキスパート ほか2名

パワーシステム事業部 原子力プラント設計部 マネジャー附

パワーシステム事業部 原子力技術部 シニアエキスパート

鹿島建設株式会社

原子力部 原子力設計室 設計室長

5. 要旨：

長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討の一環として、過去に大きな地震を経験した既設プラントの設備の耐震性に係る知見を拡充するための安全研究を令和3年度から令和6年度にかけて計画し、実施している。

当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和5年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性を検討するための試験体の載荷試験」事業を実施している。今後、本事業で実施した載荷試験結果の再現解析やそれに基づく実機解析を計画しており、その実行可能性に係る市場調査を実施した。

内容は下記のとおり。

- ① 計画している載荷試験結果の再現解析やそれに基づく実機解析の概要を、原子力規制庁から説明した。
- ② 上述の実行可能性について議論した。

6. その他
特になし